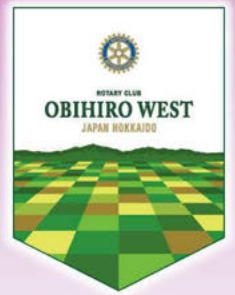




# 帯広西ロータリークラブ 第2405回例会 2022.10.14 会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！  
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

## 50周年記念式典

### 開会の言葉

創立50周年記念実行委員会

副実行委員会 若林 剛



### 来賓紹介

小谷 典之 直前会長

国際ロータリー 2500地区

ガバナー 久木 佐知子 様

国際ロータリー 2500地区

副ガバナー 漆崎 隆 様

帯広市長 米沢 則 寿 様

帯広ロータリークラブ 会長 竹川 博之 様

帯広北ロータリークラブ 会長 木戸 辰浩 様

高松ロータリークラブ 前会長 中村谷 百則 様

高松ロータリークラブ 会長 大平 昇 様

国際ロータリー 2500地区

パストガバナー 柴田 和明 様

国際ロータリー 2500地区

地区幹事 川村 寿裕 様

国際ロータリー 2500地区

直前地区幹事 池田 圭樹 様

国際ロータリー 2500地区

第6分区ガバナー補佐 松原 光一 様

帯広西ロータリークラブ

チャーターメンバー 田本 憲吾 様



### 各クラブ紹介

帯広ロータリークラブ

帯広北ロータリークラブ

広尾ロータリークラブ

芽室ロータリークラブ

足寄ロータリークラブ

清水ロータリークラブ

上士幌ロータリークラブ

帯広東ロータリークラブ

帯広南ロータリークラブ

音更ロータリークラブ

高松ロータリークラブ

帯広ローターアクトクラブ

### 黙禱

### 式辞

佐藤 聡 創立50周年記念実行委員長

創立50周年記念式典の開催にあたり、先  
の見えぬコロナ禍にもかかわらずご来賓の皆



様および多くの会員のご理解・ご協力により多数のご参  
列を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。

1972年2月24日、スポンサークラブであります、帯広  
ロータリークラブ様と帯広北ロータリークラブ様のご尽  
力をいただき、帯広西ロータリークラブが創立いたしました。  
創立から半世紀、本年4月12日に2498回の例会を  
重ね、帯広西ロータリークラブは無事50周年を迎えるこ  
とが出来ました。この間、創立40周年ではバナーを日高  
山脈とクロユリから日高山脈とパッチワークの十勝平野  
へとデザインを一新いたしました。また、31名で創立され  
たクラブも現在では85名となり、第2500地区66クラブ  
の中でも3番目の会員数を誇るクラブへと成長いたしまし  
た。多くの諸先輩たちが築いてこられた50年の歴史の重  
みに改めて感謝すると共に、次の時代に継ぐ、その責任の  
重さを痛感しているところであります。

長い歴史の一端を顧みますと、1972年に創設以来初め  
て地区にガバナーを輩出し、2013年には本日ご参加いた  
だきました四国香川県の高松ロータリークラブ様と友好  
クラブの締結をさせて頂きました。

企業人として又ロータリアンとして私共を取り巻く環境  
を考えると、今後20年間で北海道および十勝におい  
ても急激な人口減少が予測されております。加えて、新型コ  
ロナウイルスの世界的な感染は企業規模の大小を問わず  
経済に大きな打撃を与えました。我々ロータリアンは、地  
域の奉仕団体であると共に世界的組織の一員としての自  
覚を更に深め、難問解決のために力を結集しなければな  
りません。私共、50周年実行委員会は「先人への感謝と  
次なる50年への覚悟」をテーマに掲げ、一丸となって準  
備を進めて参りましたが、コロナ不況の影響は想定以上  
に根深く不安要素も多々ありましたが式典開催を4月から  
10月へと変更し本日の式典を迎えることができましたこ  
とに心より感謝申し上げます。

私たちは今後もクラブ奉仕はもとより職業奉仕・社会  
奉仕・国際奉仕と青少年奉仕を継続し、輝かしい100周  
年を迎えるべく日々精進と研鑽を積んで参ります。当クラ  
ブに対しまして尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い  
すると共に、本日ご列席の皆様のご健勝とご繁栄を心  
からご祈念申し上げ、式辞とさせていただきます。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸  
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

祝辞 RI2500地区 ガバナー 久木 佐知子 様

帯広西ロータリークラブ創立50周年に際し衷心よりお祝い申し上げます。



貴クラブは帯広ロータリークラブと帯広北ロータリークラブをスポンサークラブとして、31名のチャーターメンバーにより1972年に結成されました。以来、ロータリーの奉仕の精神に基づき、半世紀もの長きにわたって地域社会に根差した数多くの活動を行ってこられました。チャーター会員をはじめ、貴クラブのすべての皆様に深甚なる敬意を表します。加えて貴クラブはこれまで柴田和明ガバナーをはじめ、ガバナー補佐や地区役員を多数輩出してこられました。さらに2年後の2024～25年度には、ガバナーに小谷典之氏が就任されます。そうしたご功績は地区としても誇りとするところです。

クラブの歴史はクラブが育んできた文化そのものです。各種行事への協力などの地域貢献、ロータリークラブとの交流、さらには国際奉仕など数々の実績とロータリー財団へ継続的な寄付などは、貴クラブがそれを体現してこられた歩みであり、会員ひとり一人のたゆまぬ努力とチームワークの歴史でもあります。

2022-23年度ジェニファー・ジョーンズRI会長は「イマジネーション」をテーマにロータリーの未来を想像し、大きな夢を描いて行動を起こすことを呼びかけています。世界はいま、感染症のパンデミック、環境汚染、ロシアのウクライナへの侵攻など未曾有の危機の中にあります。しかし、どんな困難な中であってもロータリアンは未来を想像し、変化に対応し、行動する人たちの世界的ネットワークを生かして解決してきました。先人たちが築いてきたレガシーを受け継ぎながら、貴クラブが2500地区をはじめとしたすべてのロータリアンとロータリークラブ、ロータリーファミリーとともにますます発展されますことを祈念しております。

最後になりますが、佐藤聡実行委員長様をはじめ帯広西ロータリークラブの皆さまの多大なるご尽力にあらためて感謝申し上げ、お祝いの言葉といたします。

帯広市長

米沢 則寿

帯広西ロータリークラブが創立50周年の大きな節目を迎えられ、本日、こうして、記念式典が開催されますことを帯広市民を代表して、心からお祝いを申し上げます。クラブの皆様には昭和47年の創立以来、半世紀にわたり、様々な奉仕活動などを通じまして、住みよい地域社会づくりに貢献をいただいております。心から敬意を表し感謝を申し上げます。



さて、この度、皆様から子供たちの為に、図書館へ児童書、動物園へベニコンゴウインコ、アニマルベンチをご寄贈いただきました。先日、動物園の来園者が一千万人に達した所ではありますが、その際、ベンチの前でセレモニーと記念撮影を行い、花を添えていただいた所でございます。また、記念事業として、宇宙開発に挑戦する植松努さんをお招きになられて、小学生向けにロケット教室を開催されたこと伺っております。子供たちの知的好奇心を大いに刺激し、仲間と協力する事の大切さや空高く打ちあがるロケットを通じて子供たちに明るい未来が広がっている事を伝えていただいたものと思います。新型コロナウイルスの流行によりまして、学校行事、そして様々な体験の機会が減少している中で、貴重な学びの機会を提供いただいたものと思います。社会環境が加速的に変化する時代

において、子供たちには生涯にわたって学びを続け、変化に向き合いながら、自ら課題を見つけ、解決をしていく力を身につける力が大切だと考えております。西ロータリークラブの皆様にご提供いただいた機会は、子供たちにとって大変価値のあるものだと思います。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

皆様には今後も様々な活動を通じて、誰もが心豊かに生き生きと暮らせる街づくりにお力添えをいただきますように、お願いを申し上げます。結びに、帯広西ロータリークラブの益々のご発展と、本日、ご臨席の皆様のご健勝、そして御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。本日は、誠にありがとうございます。

高松ロータリークラブ 直前会長 中村谷 百則 様

紹介を頂きました友好クラブ高松ロータリークラブ前会長の中村谷と申します。本日は帯広西ロータリークラブ創立50周年記念式典の開催、大変におめでとうございます。



ご招待頂き本当にありがとうございます。この式典は当初予定されていましたが2022年5月から延期されて無事に本日開催できることとなり、佐藤聡創立50周年実行委員会委員長、森房明創立50周年実行委員会幹事様、また小谷典之前会長、工藤正宏前幹事様は準備が本当に大変だったことと思います。また、この式典のために、2021年11月4日には、わざわざ高松においでいただき誠にありがとうございました。

私たち、高松ロータリークラブと帯広西ロータリークラブは、2013年4月12日に川田元会長と福家元会長が有効クラブの締結式を行い、その折には総勢33名の皆様が高松にお越しになりました。私たちの事務所にはその日に頂いた記念のフクロウの木彫りが飾られています。2014年6月には高松ロータリークラブより受川元会長以下総勢20名で、帯広を答礼訪問させて頂いております。そして記念事業として愛国にポケットパークを寄贈し、また寄贈式典では友好都市であります大西高松市長からの親書を米沢帯広市長にその当時お渡しいたしました。前砂川市長様は高松のご出身であられまして、同級生が現在も会員であります。その夜は友好関係訪問例会が盛大に行われ、ロータリー精神に基づき、友愛と奉仕の温かい交流が行われました。さらに翌日の帯広ばんえい競馬で高松帯広西ロータリークラブ友好記念の冠が入ったレースが行われ、一着のカネゾウ号に表彰状と賞金を贈呈いたしました。楽勝勝毎というそうですけども「かちまい」とは讃岐方言では「勝ってくださいね」という意味で、まさにカネゾウ号が優勝の栄冠を勝ち取られたということです。以上が高松ロータリークラブと帯広西ロータリークラブ様との友好関係の経緯であります。

今回は大平会長以下総勢13名で帯広にまいりました。毎日こちらの天候と気温をチェックして準備を進めて無事に参加することができました。現在、高松ロータリークラブは、会員数90名、平均年齢63.8歳となっております。本年で創立85周年を迎えております。また、先日、高松ロータリークラブのホームページを更新しましたのでよろしかったらご覧頂けたらと思います。また帯広西ロータリークラブ様の日頃の活動の様子はFacebook等で拝見させて頂いております。特に家族野遊会は、さすが北海道。羨ましく拝見させていただきました。ゴルフも皆様大変お好きと伺っております。明日は5名当クラブからも参加させていただきます。残念ながら私は参加せずに観光に参り

ますがお付き合いのほどよろしくお願いたします。機会があれば次回は高松にお越しいただき名門 高松カントリー倶楽部、1954年に誕生した四国最古の難関コースであります。瀬戸内海国立公園地域内にある山岳コースには是非プレイをお楽しみいただきたいと思います。

今後ともロータリー精神に基づき友愛と奉仕の温かい交流が両クラブで行われるように祈念して、ご挨拶とさせていただきます。本日は帯広西ロータリークラブ創立50周年、誠にありがとうございました。

## 祝電紹介

谷脇 正人 直前副会長



## 直前会長挨拶

小谷 典之 直前会長

「益荒雄が 心定めし 北の海  
風吹かばふけ 浪立たば立て」

十勝開拓の祖、依田勉三は自らの手で強い意志を以って、多くの困難を乗り越え、未開の地を切り開きました。

1972年2月24日開庄太郎会長を筆頭に31名のチャーターメンバーは「帯広西ロータリークラブ」を創設、その想いは未開の地を切り開く依田と同じ気概であったであろうと思います。開会長就任挨拶には「奉仕こそ社会を明るくし、世界平和の基礎になると信じる」と記されています。奉仕への熱き想いを胸に、31名の会員は新たなクラブのスタートを切りました。創立以来50年の時を紡いで来た帯広西ロータリークラブ。長きに渡り、ご支援ご協力いただきました皆様をお迎えしての式典・祝賀会となります。改めまして当クラブ創立50周年の記念式典、祝賀会によるごそおいでいただきました。当クラブ会員を代表し、心より感謝申し上げます。また、本来であれば本年5月20日に予定しておりました本会ですが、拡大する新型コロナウイルス感染により延期をさせていただきましたこととお詫び申し上げます。

本日は久木ガバナー、漆崎副ガバナー、米沢市長、平成25年に友好クラブとなりました高松ロータリークラブ中村谷直前会長をはじめ、ご来賓の皆様、第6分区歴代の役員、スポンサークラブであります帯広ロータリークラブ竹川会長、帯広北ロータリークラブ木戸会長をはじめ各クラブ、各会員の皆様にご友情のご出席を賜り、重ねて感謝申し上げます。

「不易流行」この50年で時代が大きく変化する中でも、当クラブが先輩たちから、変わることなく大切に継承してきた会員相互の友情を深め、常に結束・団結し、全員で行動する精神のもと、一致協力して皆様をおもてなしさせていただきますと思います。短い時間ではありますが、

皆様に式典・祝賀会を通して「帯広西ロータリークラブらしさ」を感じていただけると幸いです。

2010～2011年度RI2500地区ガバナーとして当クラブより柴田和明会員を輩出させていただきました。14年ぶりに2024～2025年度、当クラブ2人目のガバナーとして、私、小谷典之が就任させていただくことが先週の久木ガバナー、旭川西ロータリークラブ主幹で開催された地区大会にて正式に承認されました。

結びになりますが、ご臨席賜りました皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げますと共に、創立100周年に向けての新たな帯広西ロータリークラブの半世紀の活動、そして2年後のガバナー年度の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

## 感謝状贈呈

【スポンサークラブ】

帯広ロータリークラブ様  
帯広北ロータリークラブ様



【チャーターメンバー】

田本 憲吾 様



## 記念事業紹介

太田 豊 創立50周年記念事業部会長



## 感謝状授与



## 閉会の言葉

田中 耕吾 直前副会長



## 記念講演



インターステラテクノロジズ株式会社 代表取締役社長 稲川 貴大 様

2040年、宇宙ビジネスは全体で100兆円市場へ急成長するとの予測がある。稲川氏は、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」ことをミッションに、技術開発をすすめており、講演では、宇宙産業全体の展望や自社ロケット開発の変遷を語っていただきました。未来を造るためにふるさと納税による皆様のご支援を宜しくお願い致します。

# 懇親会

## 挨拶

久保 且佳 創立50周年記念実行委員会 懇親部会長

皆さん、こんばんは。今日は、帯広西ロータリークラブの創立50周年の祝賀会に、先程ご講演いただきました、稲川社長、久木ガバナー、そして地区の役員、並びにクラブの役員の皆様、そして高松ロータリークラブから13名の皆様がお越しいただきました。第6分区のロータリアンの方々もお越しいただきまして、誠にありがとうございます。



この懇親会は本日、230名という多くの方々に参加いただきました。この懇親会、5月に本当は開催する予定でしたが、当初、懇親会をやるかどうか、実行委員会でも議論がありました。その時に式典のみをやるという話もあったんですが、強く佐藤実行委員長とそれから当時の小谷会長が、この50周年は50年に一回だから特別な周年であると。西クラブが全員参加して、これをやりとげるんだという強いメッセージがありました。そしてこの日を本日迎えることができました。今日は、このようにたくさんの皆さんに集まっていたいただきまして、本当に嬉しく思います。今日は、この後アトラクションもございますので、ゆっくりお楽しみいただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

典だけの開催を検討しておりましたが、小谷直前・佐藤実行委員長は懇親部会も一生懸命やってもらっているのに、そんなことはできないと、コロナが落ち着くのを待って式典と懇親会を同時に行うことを決めました。また、小谷直前に我々西ロータリークラブの総意で、50周年の指揮を執ってもらいたいと会長になっていただきましたし、実施は私の年度にまたがってしまいましたが、ほぼ小谷年度で準備が終わっていたので、すべて前年度が仕切る形で当式典は行わせていただきました。正直、点鐘も小谷直前にやってもらいたかったのですが、それだけは固辞されました。

私も、今日50周年を終えて、やっと小谷年度から引き継ぎをさせていただいた気分です。

今日を境に、また新たな半世紀に向かって西ロータリークラブ動き出しますし、次々年度にはカバナーを輩出します。これからも皆様方のご協力をお願いするとともに、我々もますます地域の皆様方に必要とされる帯広西ロータリークラブになるために、努力することをお誓い申し上げて、本式典の謝辞といたします。本日は、誠にありがとうございました。

## 祝杯

RI第2500地区 副ガバナー 漆崎 隆 様



## お祝い紹介

谷脇 正人 創立50周年記念実行委員会副会長

## 余興

さくら まや 様



## ロータリーソング斉唱

## 結び

帯広ロータリークラブ RI2500地区第6分区  
直前ガバナー補佐 合田 倫佳 様



## 同好会紹介

麻雀同好会	パークゴルフ同好会
銘酒会	女愉会
ツーリング同好会	ゴルフ同好会

## 会長挨拶

奥 敏則 会長

本日は、RI第2500地区ガバナー久木佐知子様、副ガバナー漆崎隆様、帯広市長米沢則寿様、友好クラブ高松ロータリークラブ大平会長はじめとする13名の会員の皆様、RI第6分区内外のロータリアン、米山奨学生、ローターアクト、事務局様の皆様方とともに、こうして帯広西ロータリークラブ創立50周年の記念式典・懇親会ができたこと、誠に感謝に堪えません。



当初、5月20日に予定しておりましたが、残念なことに、コロナが巷で蔓延し、当クラブも多くのメンバーも感染したことにより、止む無く延期をさせていただきました。多くの方にご迷惑おかけいたしましたこととお詫び申し上げます。当初、式

